

あいのわ

■発行所 社会福祉法人あいのわ福祉会
理事長 鈴島 妙子

■連絡先
〒121-0012 東京都足立区青井4丁目30番5号
TEL:03-3849-1188 FAX:03-3849-7001
URL <http://www.ainowa.or.jp/>

■印刷・作成
足立区大谷田就労支援センター

足立あかしあ園 綾瀬あかしあ園 舎人あかしあ園 神明障がい福祉施設 足立区大谷田障がい福祉施設 竹の塚あかしあ杜 あいのわ支援センター あいのわ相談センター



竹の塚あかしあ杜地域交流



後援会総会

平成27年度 第1回、第2回 評議員会・理事会報告

第1回 評議員会 平成27年5月26日 午前10時より
第1回 理事会 平成27年5月26日 午前11時より
場所 足立あかしあ園 3階会議室

議案

第1号議案 平成26年度3次補正予算について
第2号議案 (1) 平成26年度事業報告(案) 及び決算報告(案) について
(2) 平成26年度監査報告について

第3号議案 諸規程の改正について

平成26年度の補正予算・事業報告・決算報告を中心に審議をいただき全ての議案が承認されました。

委員の皆様からのご指導を今年度の運営に反映してまいります。

第2回 評議員会 平成27年9月8日 午前10時より

第2回 理事会 平成27年9月8日 午前11時より

場所 足立あかしあ園 3階会議室

議案

第1号議案 諸規程の制・改訂について

① 竹の塚あかしあ杜の利用者預り金管理規則の改訂

② 特定個人情報情報の適正な取扱いに関する基本方針の制定

③ 特定個人情報取扱規程の制定

④ 就業規則の改訂

⑤ 非常勤職員就業規則の改訂

マイナンバー制度の取組みなどを中心にご審議いただき全ての議案が承認されました。

◎ 法人の各施設ですが地区割りの移動から約5か月経ち、利用者さん・職員ともに新しい施設に馴染んできています。引き続き注意深く対応してまいります。

そして、今年度は小規模にした施設祭も、竹の塚あかしあ杜・舎人あかしあ園では夏休み中のお子さんたちはじめ地域の皆様が予想以上に沢山来て下さりクラフト教室等楽しんで頂きました。他施設も順次開催致します。

◎ 社会福祉法人制度改革について

社会福祉法人制度改革に於いて社会福祉法人制度改革について審議がされており、社会福祉法の改正を伴うものも示されており

現在社会の高齢化や福祉ニーズの多様化・複雑化に対応するべく、社会福祉法人としての役割がさらに求められます。

今後は、公益性の在り方やガバナンスの強化策が制度化されると共に、法人の透明性が更に求められます。具体的には理事、評議員、監事等の権限・義務・責任などの強化を始め広範囲に亘りますが法人と致しましてもこの行方に注視しまして対応に努めます。

後援会総会講演会「うちのかあさんアイデアかあさん」

斉藤氏は、30 数年広告代理店で広告キャンペーンのプランナーに携わっておられました。

アイデアについては、全く新しい何かを創り出すのではなく、既にあるアイデアとアイデアを組み合わせて、定義は 100 種位あるとのこと。

そしてアイデアに強い人は、物事を柔軟に理解出来、色々な角度から見られる人で、いわゆる頭の柔らかい人のようです。

砂時計（下から上へ移る砂とは？）、大空を泳ぐクジラ（飛行機の機体に描かれたイラスト）を例に話されました。

第 2 の職場である大学では、学生に発想法を教えられ、伝えたかった事として、「コインの形はどんな形に・・・？」と「雪は溶けたら何になる？」を例に、視点を変えることによって多数解あり、ロジカルシンキング（理屈の積み重ね）とクリエイティブシンキング（感性、感情、直感、ヒラメキで感じた事）を例にし、アイデアが生まれるエネルギーとは、わくわく、ドキドキ、喜んでもらいたい、喜んでくれる顔が見たい、そのような気持ちで、アイデアを生み出す基であるそうです。

又、話題を変える時は、五感を刺激するのが一番と言われるように、いよいよアイデア母さんへの導入として、中川氏がサトウハチローの詩「かあさんの匂い」を朗読され本題に入りました。

お母さんは、家庭の中で、色々な役割を果たされているが、子供達をわくわくドキドキさせてくれるお母さんの存在について、子供の誕生日を多くのアイデアを重ね、3 週間かけて迎えた例を話されま

した。

たくさん経験の積んだ子供は感性とか感情から物事を捉えることができ、やがて「生きていく力」のもとになるエネルギーになるそうです。アイデア母さんは、感動をさりげなく子供に与えることの出来るお母さんでもあるとのこと。

ではお母さんの五感を刺激するプチ贅沢、心の贅沢という事で、特に足立区にある 5 つのスポットを紹介されました。

昭和の家（西保木間 2 丁目）、ハーブオープンガーデン中沢さん宅（江北 5 丁目）、ファームヨコタ（舎人 1 丁目）、六町ミュージアムフロラ、渡辺音楽堂（中央 4 丁目）です。

後援会会員の皆様も楽しみに足を運んでくださっているようです。

最後にお父さんのアイデアとして、斉藤氏が定年を迎えられた時、奥様に感謝を込めて、100 万本のバラならぬ、100 本の真紅のバラを贈られたとの事。

足立区に 40 年余り在住し、足立区を良くしたいという深い思いと共に、聞いて下さる人に喜んでいただける内容にしたい・・・という心配りが伺える講演会でした。

（岸本）

講師 前獨協大学非常勤講師 斉藤 善久氏



地域交流行事「夏休み おたのしみ会」と竹北公園のコミュニティプランター

竹の塚あかしあの杜では、はじめての地域交流行事として7月31日（金）主に地域のお子様を対象とした「夏休みおたのしみ会」を開催いたしました。

夏休みに小学生の皆さんを中心にぜひ施設で、絵画や工作に取り組んでいただき、その作品をお家にお持ち帰りいただくことで時折この地域に障害者の方々が暮す施設があることを思い出していただき、子供時代からささやかな交流を重ね地域の方々の信頼関係をより一層積み上げていきたいという思いからの企画です。

具体的には、専門の先生のご協力を頂き、きれいなパステル画が誰にでもすぐ描けるパステルシャインアート教室と万華鏡作りの2つの教室を開催しました。食べるお楽しみも必要ではないかとカレーやたこ焼き、から揚げ、フライドポテトなど小学生の大好きなメニューを用意いたしました。

初めての試みでしたのでどのくらいの方々にご参加頂けるか心配しておりましたが、当日は子供を中心に300人余りの方々にお越し頂き、パステルシャインアートと万華鏡作りの教室では、開始と同時に行列ができ、急遽整理券を作ってお配りするということになり嬉しい悲鳴があがりました。お帰りには、万華鏡やパステル画の額を大事に抱えながら「お母さん、楽しかったね」とお話しされる小さなお嬢さんのお声も聴くことができ、職員達もほっと胸を撫で下ろすことができました。

もう一つ、当日は嬉しいことがありました。地域交流広場あいのわで足立社協のご協力をいただき開催した「ボランティア入門講座」を受講された高校

生と中学生の方3人がボランティアとして参加してくださいました。その他にも平日にも拘らず20人程のボランティアの方々にご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

この地域の小学生の皆さんにとって夏休みのお楽しみの一つの行事として定着できるよう来年も是非開催したいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

※足立区から当施設傍の竹北公園に車いすの方が楽しめる腰の高さくらいのお花型のプランターを設置していただきました。当施設が自主管理することになりましたので、利用者・職員でお花のお世話を頑張りたいと思います。お近くにお越しの際はご覧ください。

（太田）



地域交流行事 舎人あかしあ園

去る 8 月 28 日（金）、地域交流行事「Cafe 舎人庵」を開催しました。

舎人あかしあ園の 1 階は、多目的室という名称のオープンスペース。そこで地域の方々にのんびりとお気軽にお茶を飲んでいただけたら：そんなイメージで始まったのが今回の企画でした。ご協力いただいたのはケーキ販売のグッドフェローズ様、紅茶やドライフルーツ販売の O'neal's 様に加え、神明福祉作業所の方々もコーヒー販売で出店をお願いしました。

ところが当日は今にも降り出しそうな曇り空。しかも残暑どころか肌寒く、販売の準備が進む中、こんな天気でお客様が来ていただけるのだろうかと心配になりました。しかし、いざ開店の 11 時が近づくと、事前にケーキの業者様が新聞折込で宣伝されたこともあり、玄関前に並ぶ方がちらほら見え、販売開始直後には長蛇の列ができました。アイスティーとアイスコーヒーは天気のせいかなひとつ伸びませんでした。が、ケーキ販売はその後列は絶えることなく、当初の予定数を大きく上回り、追加で品物を取りに行くほどの売り上げとなりました。店内では他にもイベントがありました。午前中に花畑ギター・マンドリンクラブ様のギター演奏、午後には舎人センター所属のカナリヤ様のオカリナ演奏と、それぞれに懐かしいメロディの数々を、利用者の方と買い物のお客様と一緒に楽しめました。

今年度から施設祭に代わる行事として企画された地域交流行事ですが、4 月に開所した舎人は他施設と違い、まさにここからが地域交流のスタートにな

ります。今回の目標は「舎人あかしあ園に訪れていただくこと」。ここにこういう施設があることを知っていただくことでした。その目標はひとまず達成できたと思います。この日、「ここでボランティアをやってみよう」という地域の方が 2 名いらつしました。また、「受注作業をお願いできるかもしれない」とおっしゃってくださる方もいらつしました。少しずつですが地域とのつながりができ始めています。今回きりで終わるのではなく、こうした催しを積み重ねながら、地域に根を張った舎人あかしあ園を作っていきたいと思っています。



なお、今回の行事に出店くださった方々とボランティアの方々、そしてご来店いただいた地域の皆様に、心よりお礼申し上げます。（落合旦）



障がい者ショップの紹介

足立区では国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」を活用し「障がい者の店を応援しようキャンペーン事業」をすすめています。この事業は障がい者ショップのみで使用できるクーポン券（2,000円）を配布し、250円毎に1枚（100円）使える仕組みとなっています。神明障がい福祉施設では、地域の皆さんに施設を知っていただく機会として取組を行うこととしました。自主製品のコーヒーや革製品だけではなく企業に依頼していただく事を考え「株式会社でん六」「王子ネピア株式会社」「株式会社ビーアールシー」の協力を得て7月1日から開店をさせていただきました。

これまで沢山の住民の方に来店いただき予想を上回る売り上げが上がっています。店番の利用者の方も品物紹介や接客を楽しみにされ、笑顔で対応されています。7月中旬からは、地域の佐野センターまでリヤカーを利用しての移動販売も行い、トレードマークの麦わら帽子をかぶり、汗だくにはなりますが皆さん頑張っています。

「でん六」さんの豆製品も人気が高く、品物が少なくなるとお客様から「追加しておいてね。」と注文があります。また自慢のコーヒーもコナツオイルとのコラボレーションで、電話での問い合わせも寄せられています。秋にはハロウィン週間と住区祭りの企画を用意しています。12月28日まで続きますが、利用者の皆さんへのビッグボーナスを目指し、更なる企画と販売に力を注ぎます。多くの皆さんにご来店を頂き、クーポン券をご利用いただきたいと思います。（渡邊）



足立区ワークライフバランス推進企業認定

平成27年3月20日にあいのわ福祉会は足立区の「平成27年度ワーク・ライフ・バランス推進企業」に認定され、足立区長より認定証を授与されました。ワーク・ライフ・バランスとは仕事と生活において、一人ひとりの希望や事情に適したバランスを選択でき、二者択一ではなく双方を充実させることを意味しますが、足立区では平成21年度より積極的に取り組んでいる企業への認定制度が実施されています。これにより企業の取り組みによって生産性の向上や従業員の定着率の向上、優秀な人材の確保等の効果が見込めるとともに、認定制度により行政サービスの優先的な提供、認定企業の公表によって宣伝広告活動となるといった企業努力・認定制度の両面で様々なメリットが得られるものとなっており、現在の認定企業は47社となっております。

当法人では、職員が仕事と生活を両立しやすく、安心して働き続けることができる整備を行い、モチベーション向上・健康維持等、職員が能力を十分に発揮でき得る環境を実現することで、利用者の皆さんへのより良いサービスに繋がるものと考えております。今回認定を受けたことをより意義深いものとするため、今後も更なる職場環境の改善に努めてまいりたいと存じます。（佐野）

2015-1号

平成27年度

足立区ワーク・ライフ・バランス企業
認定証

社会福祉法人あいのわ福祉会 様

貴社をワーク・ライフ・バランス推進企業
として認定します

今後も区内他企業の模範となるよう従業員
とともにワーク・ライフ・バランスの充実
に取り組まれることを期待します

平成27年4月1日

足立区長 近藤やよい



後援会だより

(平成 27 年 5 月～8 月) 敬称略、順不同

特別会員 (101 万円)

橋本稔、東京城北ライオンズクラブ、清水康行、土屋佐知子、秋山啓司、山野正雄、石鍋一郎、肥後留太郎、(株) マルゼン、トープラ販売 (株) 利根川忠夫、青井三丁目町会、青木弘治、鈴島宏治、日商岩井綾瀬マンション自治会、中田貢弘、渡邊喜一郎、神代和幸、(株) 真田不動産、(有) A1 フラッグ、小金井寛安田良雄、(株) サンベルクス、秋山孝広、堀江日出子、足立成和信用金庫青井支店、双立電気 (株)・大谷勝、(株) カナイ、羽住奎、羽住爽恵、竹の塚あかしあの杜きずな家族会・35 口 (団体 4 口)、綾瀬あかしあ園保護者会・41 口 (個人 1 口)、舎人あかしあ園保護者会・27 口 (個人 1 口)、足立あかしあ園保護者会・52 口、竹の塚あかしあの杜のぞみ家族会・26 口、神明福祉園保護者会・36 口、神明福祉作業所保護者会・20 口、谷在家福祉園家族会・5 口

一般会員・団体会員 (103 千円～5 千円)

橋本幸子、阿部ミツ子、丸山洋子、秋山智子、平沢清壽、稲場和子、本橋久美須賀賢一、今井澄子、中村富美子、岩澤明美、赤羽敬司、大野守幸、山野雅彦、(株) 植竹製菓、中川美知子、青井 4 丁目住宅自治会・岡田三郎、三田昭夫、若林登紀子、青井 5 丁目住宅供給公社自治会・阿部稔、大谷田就労支援センター保護者有志・8 口、(株) ソーリン、小林則子、谷古宇成子、西野和彦、吉沢国夫、久保田博青井第一自治会・岡名稔、鴨下令子、平田敏光、田中誠、橋本めぐみ、藤巻暎一、青井 4 丁目第 4 自治会・高山小夜子、有馬妙子、(株) サンベルクス鈴木秀夫、伊藤定雄、青井兵和町会・関口保幸、羽子田はるみ、佐々木直幸、嶋埼正教、足立西加平郵便局、犬塚喜久男、重田久美子、斉藤善久

寄付者

財団法人啓福祉ネットワーク秋山啓司、くるみ会 佐藤勇、野澤カツヨ、(株) 三協商会・野口芳男、服部恭枝、西村文雄、渡辺和彦、建設工機 (株)・佐々木継男 匿名 3 件

●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願い、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。
一人でも多くの方々にご賛同いただき、後援会への加入をご支援をお願い致します。
申し込み・お問合せは後援会事務局
電話 (3849) 1188 まで

投稿欄

(俳句・川柳など募集中です)

敷石を割って住みたる小蟻かな

秋山 啓司

▼この一句

「湧き水は生きている水桃洗ふ」

大橋 佳歩

高校生による第 17 回俳句甲子園の個人賞に輝いた句である。

女子高生・湧き水・生水 (きみず)・桃洗う。爽 (さわ) やかな風が一瞬、目の前を吹き抜けていった、そんな思いのする句である。(秋山)

枯れないで 希望という名の 一本杉
毎日が ありのままです これからも

高橋 由美子

句集「忘れられない刻^{とき}があり 言葉があり 風景がある
あいのわ福祉会の皆さんの絵画集」の作成に関わる御礼

5 月に後援会秋山会長があいのわ福祉会の利用者の皆さんの描いたイラストを句集として作成いただき無償で配布いただきました。秋山会長よりイラストを描いた利用者の皆さんにお礼をいただきましたので、代表して大谷田就労支援センターの金井さんが感謝のお手紙をお渡しさせていただきました。重ねて御礼のほど申し上げます。

＜ご紹介＞

句集のために利用者の方々に描いていただいたイラスト等の一部が、平成 27 年 11 月 17 日から 11 月 24 日の期間で、太陽美術展 (東京美術館 1 階第 2 展示室… 9:00～17:30 入場無料) にて展示されます。是非ともご覧ください。



編集後記

各施設の取り組みで今年度地域交流の取り組みを始めております。今回の記事で竹の塚あかしあ杜と舎人あかしあ園の地域交流の様子をご紹介させていただきました。それぞれ独自の取り組みを考案し、事前の準備や地域へのご案内を行い、各施設のイベントを実施しております。初めての取り組みではありますが、今後も地域の方々との交流を始めることで、地域に対して提供できることが何かを見出ししていくことができるとなっています。

(酒井)